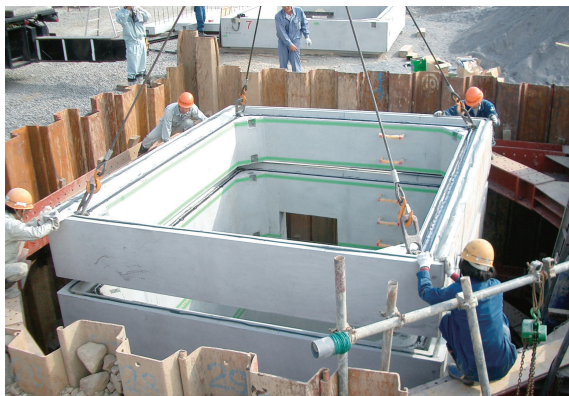
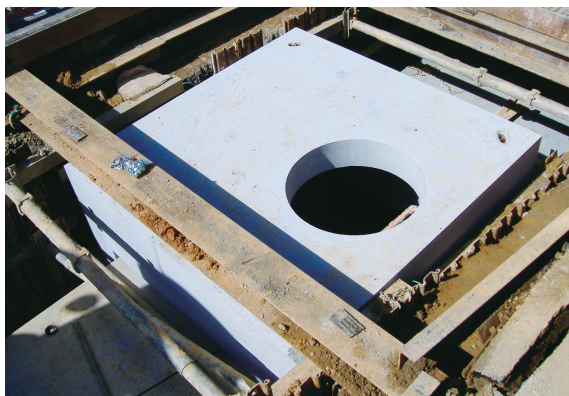


I (アイ)ホール

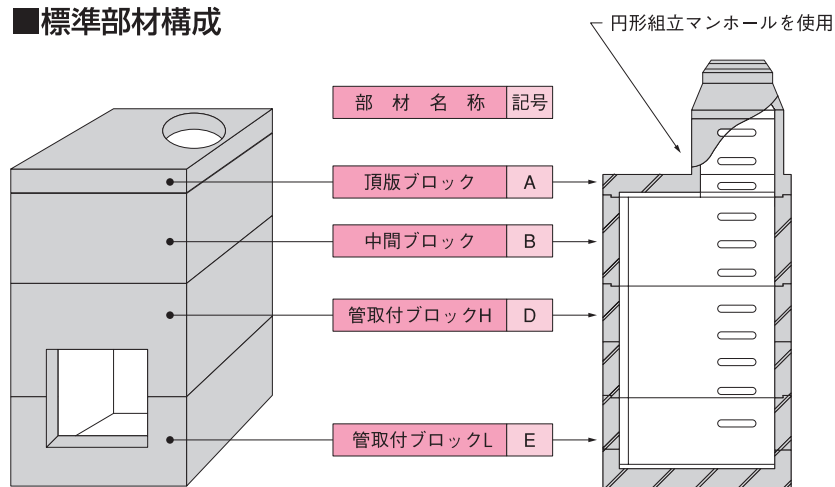
実績



特長

1. ボックスカルバートやヒューム管などの大口径管路対応の角型組立マンホールです。
2. 頂版ブロック上部には円形組立マンホール、もしくはグレーチングを設置できます。
3. 上水道の地下ピット（減圧弁、流量計、電動弁、水位調整弁、緊急遮断弁等）としても使用できます。

標準部材構成



※なお、マンホールの中間におどり場を設置する場合は中間スラブ（記号：C、高さ300mm）を標準としております

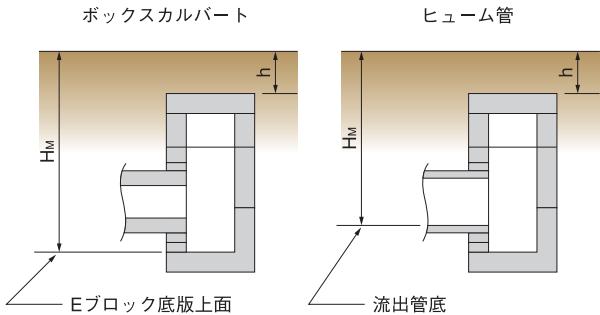
I (アイ)ホール

標準使用条件

取付管区分	ボックスカルバート (BOX)	ヒューム管 (HP)
上載荷重	T荷重 (T-25)	
地表面から頂版ブロック上面までの土被り (h)	0.11~4.5m	
最大マンホール深さ (H _M)	7.0m	11.0m ^(注)

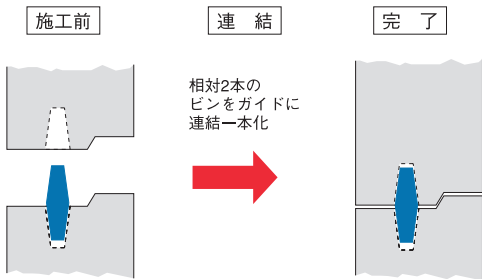
※標準使用条件外の場合は別途設計検討を行います
(注) 1200×1200は9m、3500×1500は7mとなります

マンホール深さは下図の位置とします



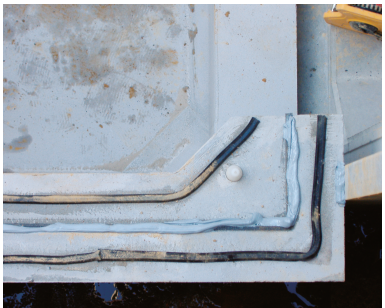
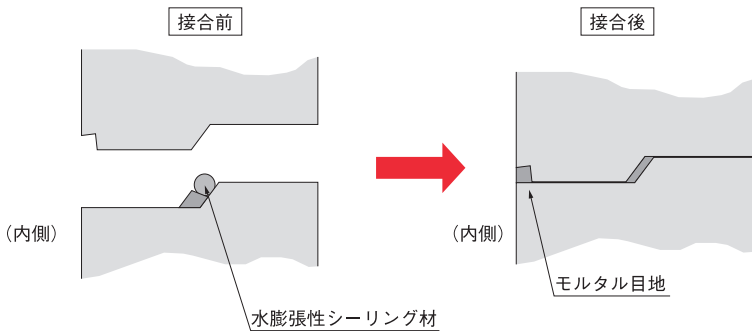
CGP工法 (カップルガイドピンジョイント工法) を採用

ピンガイド・ピン接合による施工時間の短縮化
樹脂性ピンのため弾性に富み、せん断に対し高強度
耐久性は半永久



水膨張弾性シーリング材 (ガン塗布型) の採用

- 水膨張弾性シーリング材を接合部斜面にガンで塗布するだけで防水対策は完了
- ガイドピンによる正確な位置合わせからシーリング材の均等分布が可能となり止水性が向上

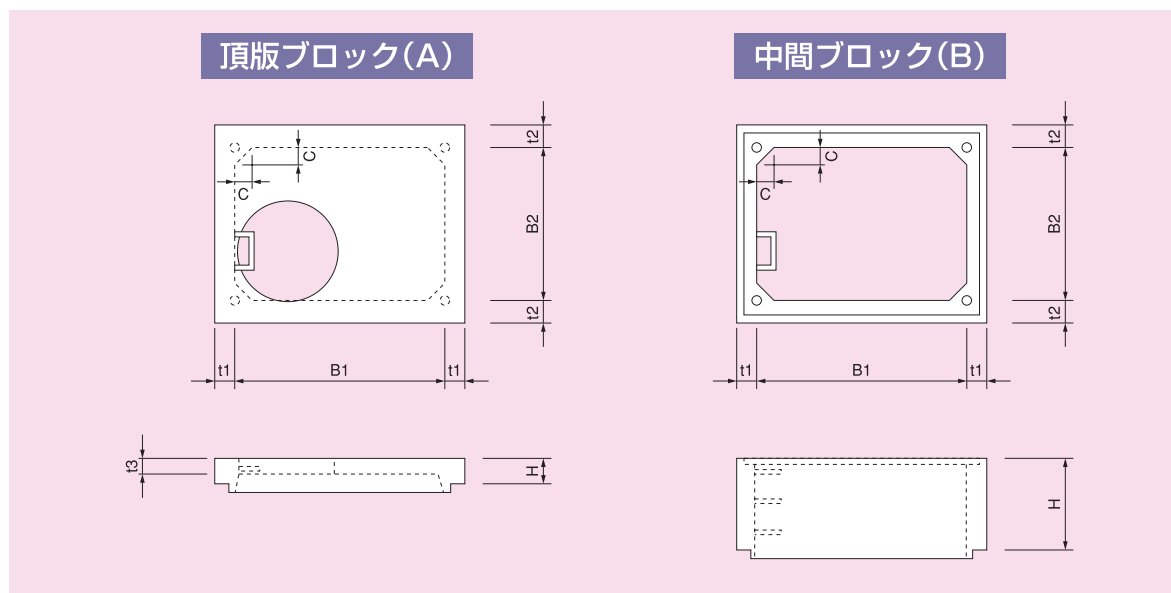


水密試験データ

条 件	結 果
接合 1 日後水圧加圧	0.18Mpa 漏水なし
接合 1 日後注水 2 日後水圧加圧	0.30Mpa 漏水なし

寸法図

I (アイ)ホール仕様



(単位: mm)

呼び名		1200(B1)×1200(B2)						1500(B1) ×1500(B2)						1800(B1) ×1800(B2)					
種 類	記号	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)
頂版ブロック	A	300	120	120	200	100	900	300	150	150	220	100	1650	300	160	160	230	100	2450
中間ブロック (管 取 付 ブロックH)	B 6 (D 6)	600	120	120	—	100	970	600	150	150	—	100	1490	600	160	160	—	100	1880
	B 9 (D 9)	900					1450	900					2230	900					2820
	B12 (D12)	1200					1930	1200					2970	1200					3750
	B15 (D15)	1500					2410	1500					3720	1500					4690
	B18 (D18)	1800					2900	1800					4460	1800					5640
	B21 (D21)	2100					3380	2100					5200	2100					6570
管 取 付 ブロックL	E 9	900	120	120	140	100	1750	900	150	150	180	100	3200	—	—	—	—	—	—
	E12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1200	160	160	200	100	5320
	E15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備 考	使用最大 取 付 管	BOX	600×600					900×900					1200×1200						
		HP	φ 700					φ 1000					φ 1200						
	流出管底高 (Ha)	BOX	管取付ブロックL(E)の底版厚さ(t3) + 取付BOXの底版厚さ + 開口余裕(40～50mm)																
		HP	400					400					450						

注1: 管取付ブロックH(D)及び管取付ブロックL(E)の参考重量は開口無の場合を示す

注2: 取付管については別資料「取付管設置要領書」を参照願います

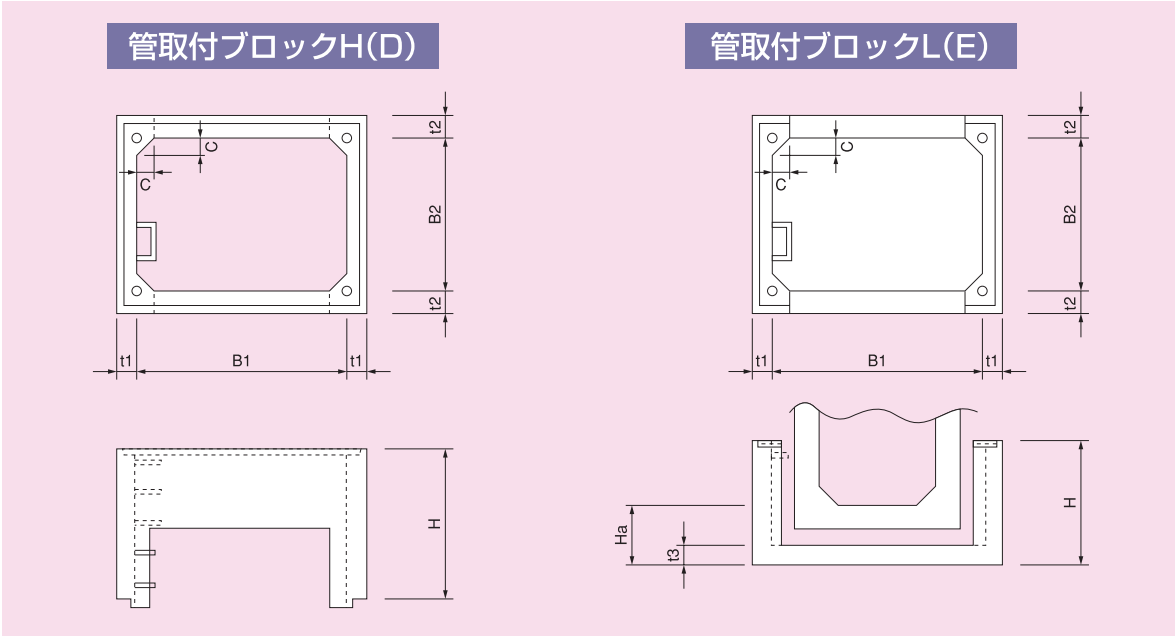
注3: 上表の寸法について予告無く変更する場合があります

FUJI COLLECTION

[水路シリーズ]

ボックス型組立マンホール

I (アイ)ホール



(単位: mm)

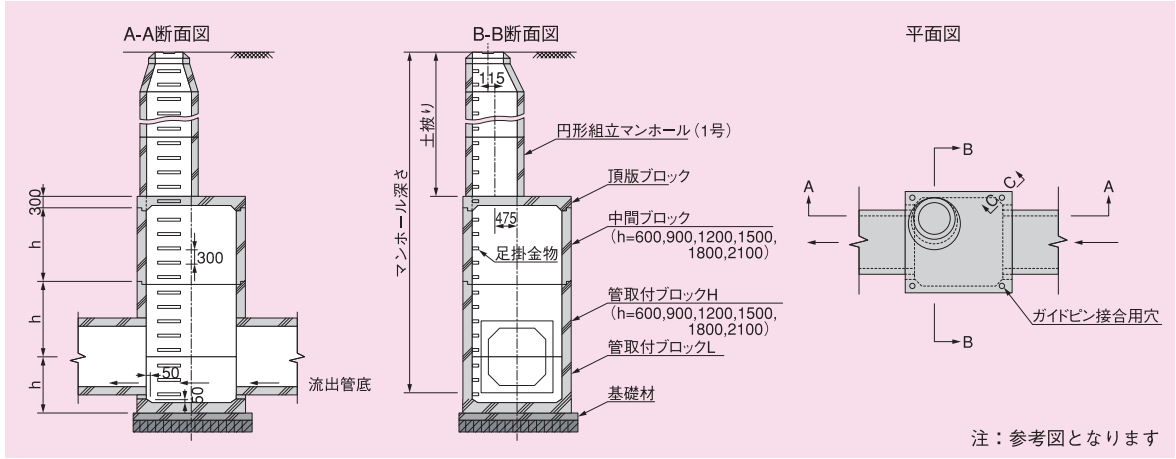
呼び名		2000 (B1) × 1500 (B2)						2000 (B1) × 2000 (B2)						2500 (B1) × 1500 (B2)					
種類	記号	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)
頂版ブロック	A	300	170	200	250	100	2570	300	190	190	250	100	3350	300	200	250	250	150	3500
中間ブロック (管 取 付 ブロックH)	B 6 (D 6)	600	170	200	—	100	2160	600	190	190	—	100	2480	600	200	250	—	150	3080
	B 9 (D 9)	900					3240	900					3720	900					4620
	B12 (D12)	1200					4320	1200					4960	1200					6160
	B15 (D15)	1500					5390	1500					6200	1500					7700
	B18 (D18)	1800					6470	1800					7430	1800					9240
	B21 (D21)	2100					7550	2100					8670	2100					10780
管 取 付 ブロックL	E 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	E12	1200	170	200	220	100	5900	1200	190	190	250	100	7360	—	—	—	—	—	—
	E15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1500	200	250	250	150	9930
備 考	使用最大 取 付 管	BOX	1400×1400					1400×1400					1800×1800						
		HP	φ 1350					φ 1350					φ 1800						
	流出管底高 (Ha)	BOX	管取付ブロックL(E)の底版厚さ(t3) + 取付BOXの底版厚さ + 開口余裕(40~50mm)																
		HP	500					500					550						

注 1 : 管取付ブロックH(D)及び管取付ブロックL(E)の参考重量は開口無の場合を示す

2 : 取付管については別資料「取付管設置要領書」を参照願います

3 : 上表の寸法について予告無く変更する場合があります

I (アイ)ホール仕様



(単位：mm)

呼び名		2500 (B1) ×2500 (B2)						3000 (B1) ×2000 (B2)						3500 (B1) ×1500 (B2)					
種 類	記号	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)	H	t1	t2	t3	C	参考重量 (kg)
頂版ブロック	A	300	240	240	280	150	5880	300	230	290	280	150	5930	300	300	360	250	150	5780
中間ブロック (管 取 付 ブロックH)	B 6 (D 6)	600	240	240	—	150	3940	600	230	290	—	150	4370	600	300	360	—	150	5720
	B 9 (D 9)	900					5900	900					6560	900					8590
	B12 (D12)	1200					7870	1200					8740	1200					11440
	B15 (D15)	1500					9840	1500					10930	1500					14310
	B18 (D18)	1800					11800	1800					13110	1800					17170
	B21 (D21)	2100					13770	2100					15290	2100					20030
管 取 付 ブロックL	E 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	E12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	E15 (E19)	1500	240	240	300	150	14340	1500	230	290	320	150	15540	1900	300	360	280	150	21640
備 考	使用最大 取 付 管	BOX	1800×1800					2200×2200					2500×2500						
		HP	φ 1800					φ 2200					φ 2500						
	流出管底高 (Ha)	BOX	管取付ブロックL(E)の底版厚さ(t3) + 取付BOXの底版厚さ + 開口余裕(40～50mm)																
		HP	550					600					600						

- 注 1：管取付ブロックH(D)及び管取付ブロックL(E)の参考重量は開口無の場合を示す
2：取付管については別資料「取付管設置要領書」を参照願います
3：上表の寸法について予告無く変更する場合があります
4：呼び名3500(B1)×1500(B2)の管取付ブロックLについてはH=1900(E19)となります

(1個当り)

名 称		単位	ブロック 1 個当り重量 (t)										
			2未満	2～4未満	4～6未満	6～8未満	8～10未満	10～12未満	12～14未満	14～16未満	16～18未満	18～20未満	20～22未満
土木一般世話役		人	0.10	0.14	0.18	0.24	0.30	0.38	0.46	0.54	0.62	0.70	0.78
特殊作業員		人	0.20	0.28	0.36	0.48	0.60	0.76	0.92	1.08	1.24	1.40	1.56
普通作業員	2000×2000以下	人	0.30	0.42	0.54	0.72	0.90	1.14	1.38	1.62	1.86	2.10	2.34
	2000×2000超え		—	0.56	0.72	0.96	1.20	1.52	1.84	2.16	2.48	2.80	3.12
ラフテレーンクレーン		日	0.10	0.14	0.18	0.24	0.30	0.38	0.46	0.54	0.62	0.70	0.78
			(10t吊)	(20t吊)	(25t吊)		(35t吊)		(45t吊)		(60t吊)		(100t吊)
諸雑費		%	5.00										

- ※1. 上表は標準的な現場設定であるため、現場の作業条件により据付効率が異なる場合は、別途検討となります。
※2. 歩掛りはブロック 1 個当りの据付作業であり、接合部のシーリング材塗布作業も含まれます。
※3. 諸雑費は目地モルタルの材工費で、労務費とラフテレーンクレーンの合計に乗じた金額を計上して下さい。
※4. 敷モルタル、土工及び基礎工は、別途算出となります。

参 考
歩掛表